



みどりのきずな

平成23年3月15日 発行 第14号

【緑区地域福祉計画 基本理念】

『区民一人一人が手を結びあい、
心あたたまる地域の活性化をめざし、
住みよいまちを創造していく』

編集：緑区地域福祉計画推進協議会広報部会
発行：緑区地域福祉計画推進協議会事務局
(緑保健福祉センター 高齢障害支援課内)
千葉市緑区鎌取町2 2 6 番地 1
Tel 043-292-8142 FAX 043-292-8276

「完は序なり」第二期地域福祉計
画の推進に向けて — 思い遣り・
気遣い・人の心遣い を感じて

委員長 岡本博幸

「完は序なり」この言葉は確か、
劇作家シェイクスピアが言った言
葉だったと思います。演劇が完結し
たとき、それは終わりではなくそこ
から新しい世界の一步が始まるとい
うあくなき探求精神が込められた言
葉です。わたしの好きな言葉の一つ
です。

平成二十二年度で、第一期地域
福祉計画が終了し、二十三年度は、
第二期四年間の実施へと受け継がれ
ていく年となりました。地域福祉の
推進には、区切りがあるわけではあ
りません。要望・改善を進展させな
がら継続的かつ循環的に推進させて
いかなければならないと思っていま
す。その道程は、「三步進んで、二歩
下がる」という遅々たる歩みかもし
れません。まさしく「完は序なり」
の連続だと考えています。

最近、印象に残った新聞記事がい
くつかありました。最初は、「高齢者
が敬老の日に子どもや孫にして欲し
いものは(22・9・17、朝日・

電通総研調査)の問いに「電話をし
てくれる二十・六%」、「家を訪問し
てくれる十九・八%」が上位でした。

高齢者は、「もの」を頂くことではな
く「顔を合わせる・話し合う」こと
に幸せを求めていることが分かりま
す。人は、話すことによつて互いの
絆を深め、心にゆとりと喜びを感じ
て生きているからです。「幸」とは、
最も身近なところにあるのです。

次は、「老人にはもたつく権利があ
る(22・12・11朝日)の投書
には賛否両論がありました。『例えば
スーパールのレジで合計金額を知らさ
れてから、やおらバッグの中から財
布を探し始める人がいます。並んで
いる間に準備しようとしなくていいの
です。』それに対して、『待てない』『我
慢ができない』人々の社会が何かに
つけて切れやすい世の中を作り上げ
ている気がします。』という意見でし
た。ここには、「相手の立場に立つて
考える」という人間理解の基本的な
アイデンティティーの問題が含まれ
ていると思いました。世界に起きて
いる紛争、対立、いがみ合いも「相
手の立場に立つて」考えるこの一言
ができないからでしょう。これを全

世界の人々が共有したとき地球上に
は平和が訪れるのではと考えていま
す。

最後に、「高齢者の住まい、暮ら
し・県住民意識調査(22・1・
31千葉日報)」によると「親しく付
き合っている十七・六%」、「あいさ
つ程度三十八・五%」に大変ショッ
クを受けました。十七・六%の意味
するものは何でしょうか。地域住民
の連帯意識が希薄になったせいでは
ようか。それとも社会の閉塞感から
でしょうか。そんなことではありま
せん。本来、人間は、喜怒哀楽を共
有したいと思っているのです。絆を
作りたいと思っているのです。それ
に踏み込んで行けないのが現状なの
です。打破していきましょう。

副題に『遣』という言葉掲げま
した。『遣』は、「つかわす・いかせ
る・与える・おくる・恩恵を与える」
等の意味があります。人と人の関係
を表す良い言葉です。「遣唐使」は、
日本の政治・文化・社会に大きな役
割を果たしました。わたしたちは緑
区の「遣唐使ならぬ遣地域使」とし
て福祉計画の推進に努力したいと思
っています。

椎名地区

高齢者と子どもと

一緒に楽しく遊びました

一月二十日、椎名小六年生と高齢者とは、「椎名ふれあい食事会」の場で、「百人一首」、「かるた」、「お手玉」、「あやとり」などの昔遊びをしながら、たのしく「ふれあう」ことができました。

また、二月二十二日には、椎名小学校に地域の人を招いた、「招待食事会」を開きました。お年寄りにやさしい「献立」やゲームや歌などを、六年生みんな考えて決めました。

高齢者からは、物が少なかった頃の食べ物の話や昔の生活ぶりなどの話があり、子ども達も熱心に聴いていました。「もったいない」、「助け合い」、「思いやり」の気持ちを引き継いでもらいたいとの思いを込めて話していました。

子どもは地域のみんなで育っています

地域の福祉ボランティア有志達は、毎水曜日、授業前の十五分間、椎名小学校で全児童の学力向上と「ふれあい」を目的とした「漢字パワーアップ授業」として学習の支援を行っています。

学校のテストとは違い、「あいさつ」で始まり、「あいさつ」で終わる礼儀も学びつつ、ゲーム感覚でたのしく語り合いながら、「書き順」、「はね」、「はらい」、および「送りがな」など正しい漢字の書き方を一緒に勉強しています。

正しく書けたかな？



私も、あなたも福祉活動・健康づくりに参加したよ

「人と人とが支え合う町」づくりの催し物のひとつである、「福祉・コミ懇まつり」が、二月十三日（日）、椎名小学校にて開催されました。

「バザー」には、地域性に富んだ農産品をはじめ、地域住民の善意の品が多数提供されていました。買い手も老若男女、多くの人が集まり、「お久しぶり」、「お元氣？」など会話も飛び交い盛況でした。

「ゲートボール大会」では、五チームが参加、優勝を目指してチーム一丸となって、競い合う姿には、「老け込んではいませんよ」との気概が見られました。

当日、健康相談会も行われました。福祉センター健康課（三橋さん・中山さん）に来ていただき、「血圧測定・糖尿病予防・生活習慣病について」のご指導がありました。四十名の方々が相談に来て、なごやかな雰囲気の中で終わることができました。健康に感謝の一日でした。

おゆみ野地区

「ぼくらのタスキが

まちをつなぐ！」

一月三十日、「第三回おゆみ野四季の道駅伝」が開催されました。この冬一番とも思われる寒さのなか、今年は参加者が増えて、百二十三チーム、約六百名の子どもたちが、「おゆみ野四季の道」を元氣いっぱい走ってタスキをつなぎました。

回を重ねることで、小学生・中学生選手と高校生・地域ボランティアとのきずなが更に深まり、おゆみ野のまち全体が大きな輪でつながったと言っても過言ではないでしょう。

たくさんの方の感動をありがとう！

四月三日（日） 午前十時

鎌取コミュニティセンター

円形広場から遊歩道

さくらさくさくウォークラリーを開催します！

誉田地区

ふれあい・いきいきサロン

「歌声喫茶」について

平成二十年七月に第一回を開催し、今年は四年目に入ります。毎回約三十人程が集まり、ボランティアの方々によるキーボードやウクレレの演奏に合わせながら、民謡・童謡・歌謡曲・ロシア民謡等々大きな声で元氣よく、そして、楽しく歌っています。前回より、津軽三味線の奏者として熱海からボランティアの方に来ていただき民謡の練習をするなど、より一層幅広い活気のある会になって来ているような気がします。―歌声喫茶―なので休憩になると、お茶と茶菓子などを口にしながら隣の人達との楽しい世間話と変わり、歌声と違った花が咲きます。本当に心が豊かになる充実した―歌声喫茶―です。(誉田ニュータウン自治会 寄稿)

天空高く炎となって舞い上がります



伝統行事火祭り「どんど焼き」

一月八日(土)、辺田町平山小学校下の広場で、小正月の伝統行事火祭り、「どんど焼き」が地域の人々を集めて盛大に行われました。

♪あ〜 ♪ルルル〜 ♪ららら〜



土気地区

土気中学校区マラソン大会

一月十五日(土)、第二十八回土気地区小中学校マラソン大会が、創造の杜トリムコースで開催されました。

この大会には、土気・越智・土気南・大椎の四中学校区十校(小学校六校・中学校四校)の小学四年生から中学二年生までが参加しました。

特に今年は昨年の参加人数を上回り、大会史上最多の八百七十八名の小中学生が参加しました。絶好のコンディションの中、三つの学年で新記録更新、三大会優勝の特別賞を四名が受賞するなど、記録づくめの大会となりました。

お知らせ

～聴覚障害者への理解、手話のできる市民を増やしていこう～

●映画 「ゆずり葉」 上映運動

●We Love コミュニケーションパンフ
普及と署名運動

行政や学校等を通して呼びかけ、従来の手話講習会とも並行して、手話や聴覚障害者に理解のある市民を少しでも増やしていこう。

そのためには、手話サークルや手話通訳者とともに手をつないで歩もう。

寒さの厳しい中、ファイト!!



中学生との意見交換会を実施！！

平成22年12月11日（土） あすみが丘プラザにて行われました、第4回緑区地域福祉計画推進協議会において、土気、土気南、大椎中学校の生徒さんに参加していただき、第二期緑区地域福祉計画について話し合いました。

横断歩道でただ手を引くだけが全てではないと思いました。また、電話で見守りをするだけでなく、手紙交換で交流することも一つの方法だと思いました。

老人ホームなどの施設に行って中学生が、プレゼント交換をしたりして、ふれあうような機会があれば良いと思いました。

高齢者や障害者の方と話しのできる集会やひろばに参加して、一緒に接する機会を持ちたいと思いました。

学校でもっと高齢者や障害者との交流があれば良いと思いました。また、手話を教えてもらったり、筆談で話しができれば良いと思いました。



◆◆◆編集後記◆◆◆

最初のフォーラムから委員となってもう何年の月日がたつのでしょうか。4月からは、第2期計画に移行します。福祉というものは、カメのようにゆっくりと、でも確実な歩みを信じたいですね！

ご意見、お待ちしております。

(T・T)

掃除をする機会があまりないので、地域の人の声を聞いて、地域の掃除について考えてみたいと思いました。

もしかしたら、何も知らない人が、障害者を避けることは仕方のないことかも知れません。だから、そのような人を理解する場や学校での授業があつたらよいと思います。